

奥多摩地域公共交通計画（素案） （骨子）

令和5年10月13日

1. はじめに | 計画作成の趣旨、計画の区域、計画の期間
2. 地域の現状 | 地勢・地理、社会経済状況
3. 上位・関連計画の整理 | 総合計画、その他
4. 地域旅客運送サービスの現状と課題 | 地域旅客運送サービスの役割、整備・利用状況、課題
5. 基本方針 | 取組の方向性
6. 計画の目標・施策 | 計画期間内に達成すべき目標値、施策
7. 計画達成状況の評価 | 評価計画、見直し方針

1. はじめに

1-1. 計画作成の趣旨

- ・当地域では、東京都が「生活交通確保維持計画」を策定し、西東京バス「丹波線」「小菅線」「鴨沢西線」の3系統に対し、国と都で運行支援を実施して運行している。（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）
- ・当系統沿線では人口減少・高齢化の進行により需要が減少し、公共交通の維持が重要な課題となっている。
- ・一方、国は、活性化再生法の改正に合わせ、地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統等の位置付けを補助要件化した。（計画制度と補助制度の連動化）
- ・そのため、沿線地域を対象に、東京都、関係自治体、事業者等と連携し、地域公共交通計画を策定する。

1-2. 計画区域

- ・奥多摩地域：氷川地区、小河内地区
（第5期奥多摩町長期総合計画の区域を
基に設定）

1-3. 計画の期間

令和6年度（2024年度）

～令和10年度（2028年度）



2. 地域の現状

2-1. 奥多摩地域の地勢・地理、社会経済状況

地勢

・対象地域は山間部が多くを占め、更にその大半が秩父多摩甲斐国立公園に指定されており、東京、首都圏の貴重な憩いの場として、多くの観光客を迎え観光産業が展開している。

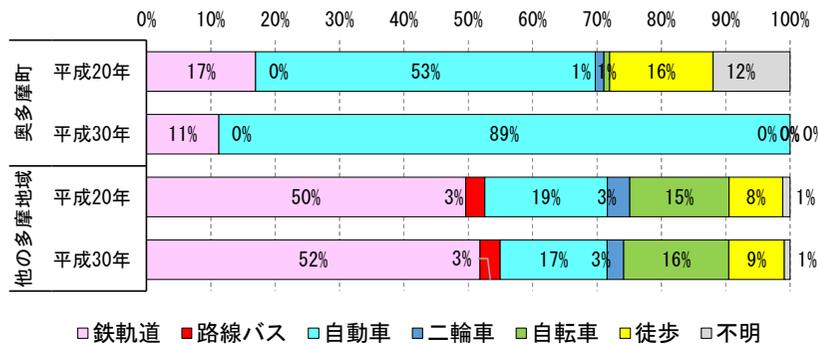
人口

・人口減少や高齢化に伴い、鉄道・バス路線の利用が減少している。移住定住対策により人口減少の度合いが鈍化する効果もみられるが、今後の人口減少・高齢化により更に利用の減少が予想される。

交通流動 観光客

・対象地域における日常の移動では、町内のほか町外への移動が多い。
・対象地域では、自動車为主要な移動手段となっており、公共交通の分担率は低い。運転免許返納者のタクシー利用もみられる。

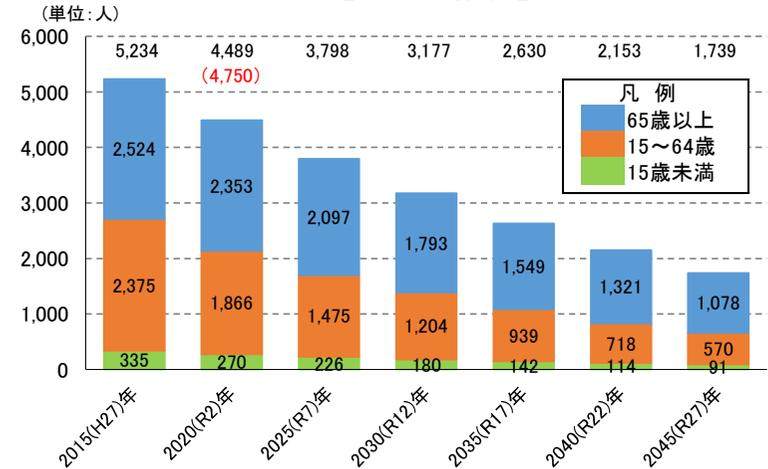
【交通手段分担率（通勤目的）】



注「私事目的」は、参考資料(p20)を参照

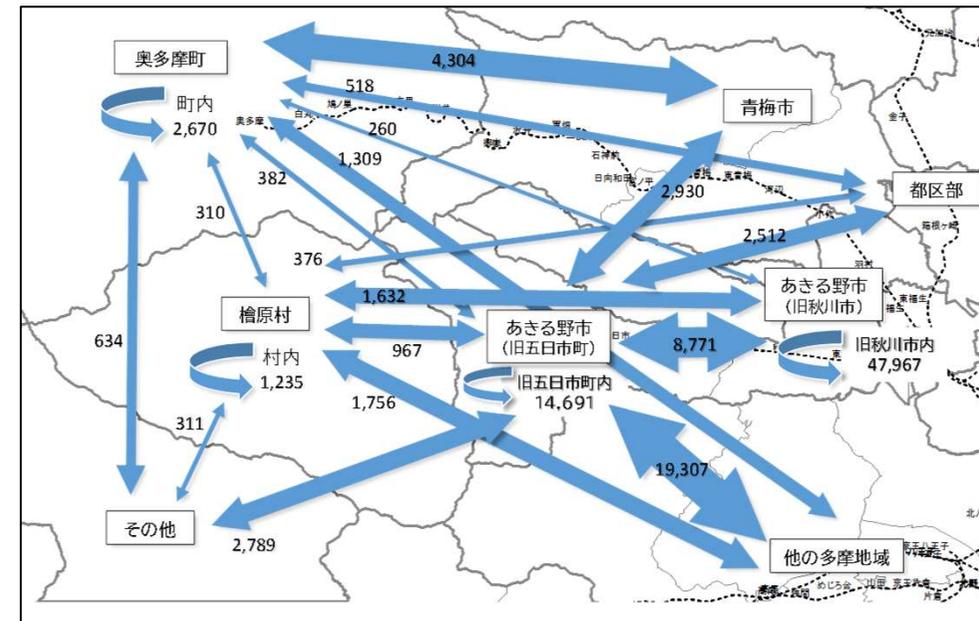
資料) 平成30年東京都市圏パーソントリップ調査

【人口の推移】



資料) 『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』(国立社会保障・人口問題研究所)
2020年の(赤字)は実績値

【交通流動状況（全目的）】



資料) 平成30年東京都市圏パーソントリップ調査

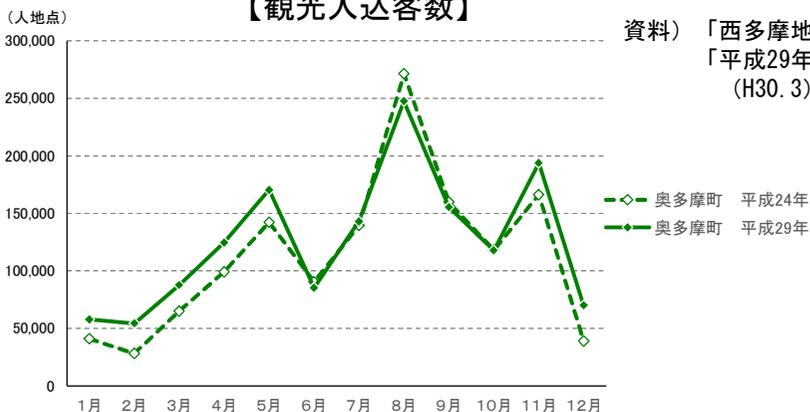
※ここでの記載に関連する図表は、参考資料(p20)も参照

2. 地域の現状

観光客

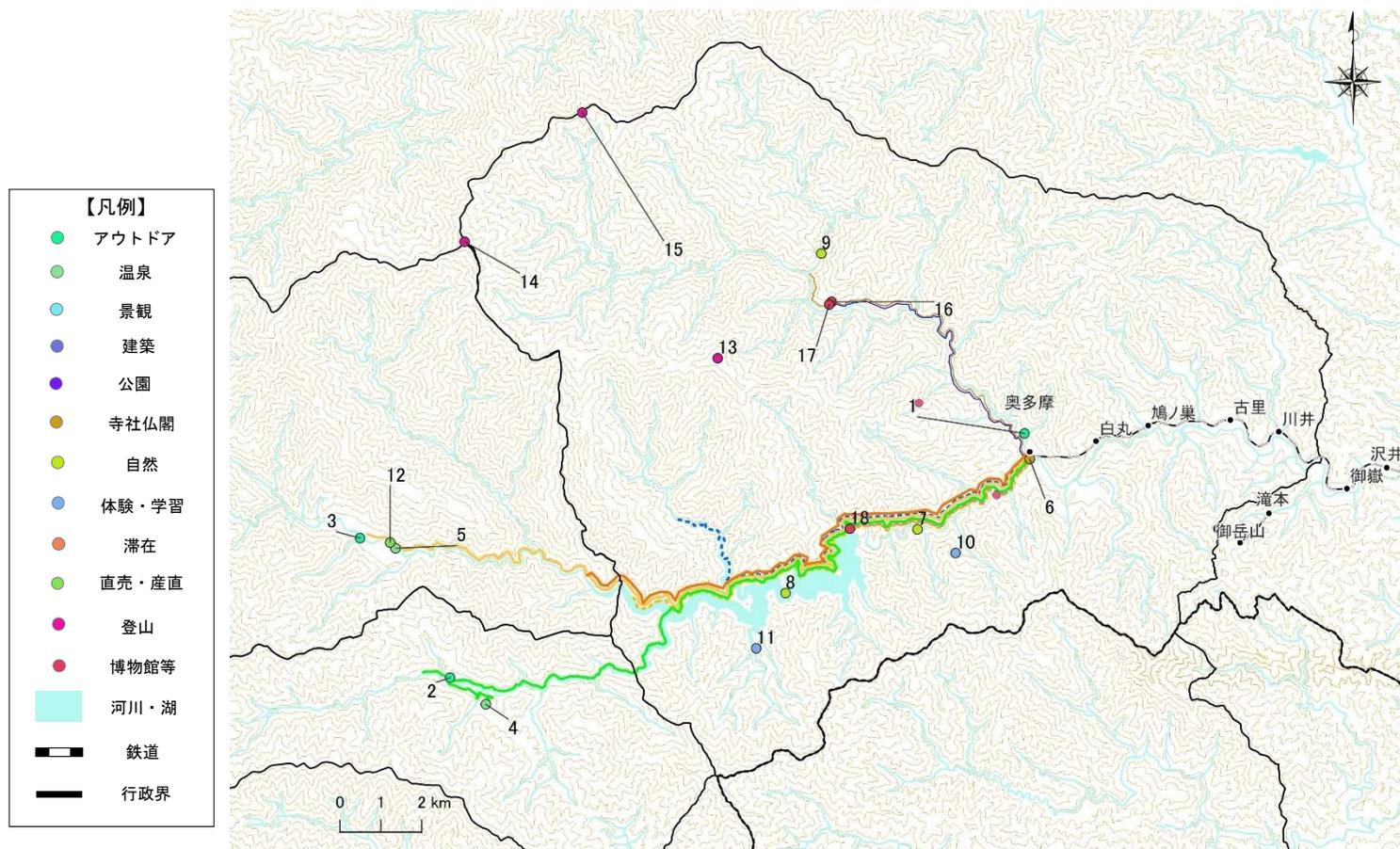
- ・観光入込客は、8月がピークで、5,11月も比較的多いが、冬季では少なく季節変動が大きい。
- ・対象地域では、豊かな自然に囲まれた地域特性を活かし、様々な観光スポット・施設がみられる。

【観光入込客数】



資料) 「西多摩地域観光入込客調査報告書」(H25.3)
 「平成29年度西多摩地域入込観光客数調査報告書」
 (H30.3) (西多摩地域広域行政圏協議会)

【主な観光スポット・施設】



分類	NO.	観光資源名
アウトドア	1	氷川国際マス釣場
	2	多摩源流
	3	丹波山村営つり場
温泉	4	小菅の湯
	5	丹波山温泉のめこい湯
寺社仏閣	6	奥氷川神社
自然	7	惣岳溪谷
	8	奥多摩湖
	9	日原鍾乳洞
体験・学習	10	体験の森
	11	山のふるさと村
直売・産直	12	道の駅たばやま
登山	13	石尾根
	14	雲取山
	15	長澤背稜
博物館等	16	日原ふるさと美術館
	17	日原森林館
	18	奥多摩水と緑のふれあい館

資料)「奥多摩町ガイドマップ」に記載された主要な観光スポット・施設を類型化して表示

3. 上位・関連計画の整理

○ 東京都、奥多摩町の上位・関連計画

1) 総合計画

- ・ 利用しやすい公共交通（ダイヤ、所要時間、情報提供、交通結節点整備等）
- ・ 交通不便地域や高齢者等の移動困難者の移動支援
- ・ バス路線の維持・確保、利用増のための取組み、タクシーの運行継続、新たな交通システムの検討

「未来の東京」戦略version up 2022(東京都)
新しい多摩の振興プラン(東京都)
東京都過疎地域持続的発展計画(東京都)
第5期奥多摩町長期総合計画
第2期奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略
奥多摩町過疎地域持続的発展計画
第5次奥多摩町行政改革大綱

2) 都市計画・まちづくり

- ・ 生活中心地や拠点集落への居住推進等
- ・ 公共交通の利便性向上

都市づくりのグランドデザイン(東京都)

3) 公共交通

- ・ 幹線系統の維持・確保に向けた課題解決、ラストワンマイルの移動手段の充実
- ・ 地域の実情や利用者の立場に応じた利用しやすい公共交通
- ・ 路線維持に向けた利用者側（住民）の協力

東京における地域公共交通の基本方針、及び未来の公共交通こどもアンケート(東京都)
令和元年度 奥多摩町まちづくり住民アンケート調査

4) 観光振興

- ・ 交通インフラの充実

PRIME 観光都市・東京(東京都)

5) 福祉

- ・ 障がい者等の移動支援（割引、福祉有償運送への支援等）
- ・ 誰もが利用しやすい交通機関の整備推進、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり
- ・ 子育てを支援する環境整備（公共交通のバリアフリー化）

奥多摩町地域保健福祉計画
奥多摩町障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画

6) 環境

- ・ 地球環境改善のため、公共交通利便性向上による公共交通利用転換、環境対応車両導入等

奥多摩町環境基本計画

7) 防災

- ・ 災害時の地域公共交通の確保

奥多摩町地域防災計画
奥多摩町国土強靱化地域計画

4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-1. 奥多摩地域の地域旅客運送サービスの現状

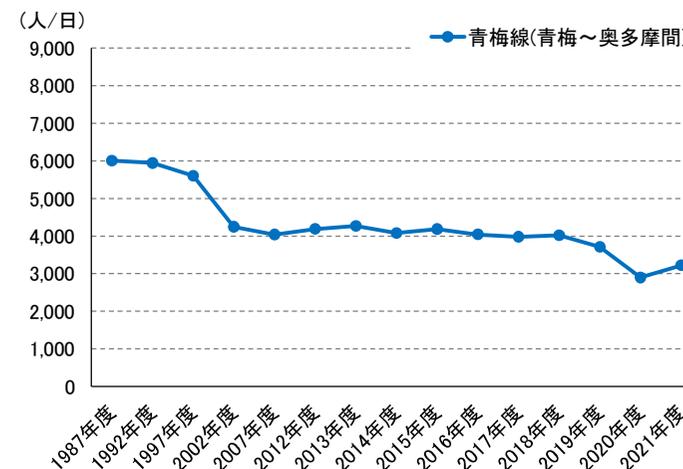
公共交通網 各種輸送 サービスの 取組み

- ・対象地域には、JR青梅線が乗り入れている。
- ・JR東日本では、青梅線の青梅～奥多摩駅間を「東京アドベンチャーライン」と称して、青梅線の利用促進や地域活性化に資する様々な取組を進めている。
- ・対象地域のバス路線は、奥多摩駅を起点に設定され、このうち「奥09・奥10・奥12系統」の3系統は市町村を跨ぐ地域間幹線として基幹的な公共交通軸を形成し、住民の通勤・通学・通院等や観光の移動手段として重要な社会基盤となっている。
- ・バス路線は、概ね、鉄道との乗継ぎを考慮した運行ダイヤの設定がなされている。
- ・奥多摩町では、路線バスと物流事業者が連携した「貨客混載」の実証実験を実施した。
- ・各市町村におけるその他の移動サービスとして、高齢者等の福祉輸送や観光輸送が実施されている。

公共交通の 需要 利用特性

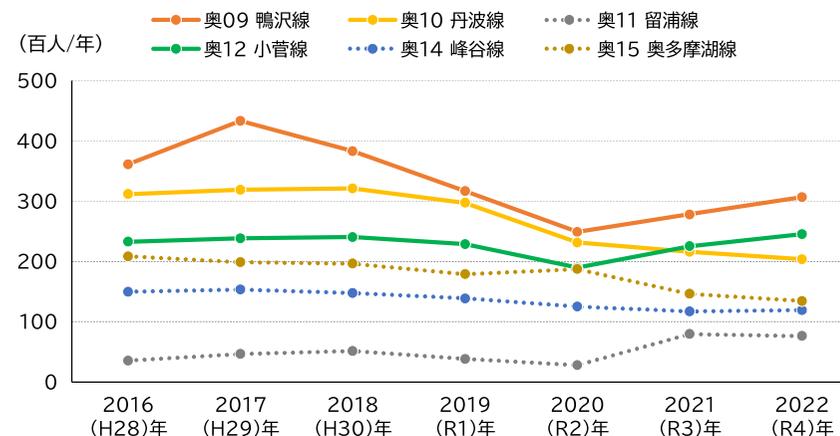
- ・鉄道の利用者数は、沿線人口の減少を背景に、徐々に減少しつつある。
- ・路線バス利用者数はコロナ禍の影響もあり減少傾向である。現在、コロナ前の水準には戻っていない。
- ・バス利用は、新緑、夏休み、紅葉の時期に多く、観光・レジャー・登山客の多さが伺える。
- ・雲取山をはじめとする登山口の最寄りバス停の利用が多く冬季でも利用がみられる。

JR青梅線利用者数の推移



バス路線利用者数の推移

【奥多摩駅発系統】



注) 奥10丹波線は2022年に国道411号が落石の影響により通行規制があったことに留意が必要

注) 各年とも「暦年」の値である。

資料) 西東京バス資料

※ここでの記載に関連する図表は、参考資料 (p 23) も参照

4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-2. エリア内における地域公共交通の位置づけと役割分担



4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-2. エリア内における地域公共交通の位置づけと役割分担

位置づけ	系統		役割	確保・維持策
広域幹線	鉄道	J R 青梅線	奥多摩町の中心に位置し交通結節点である奥多摩駅から、青梅、立川や都心等への広域輸送を担う。	交通事業者と連携した取組みにより、観光を中心とした現状以上の需要を確保
地域内幹線	乗合バス	奥09 鴨沢線	奥多摩駅を発着地とし、国道411号沿道の各地域や主要な観光スポット、登山口を經由し、山梨県丹波山村・小菅村へ連絡する。	地域公共交通確保維持事業(幹線補助)を活用し持続可能な運行を目指す
	乗合バス	奥10 丹波線		
	乗合バス	奥12 小菅線		
支線	乗合バス	奥11 留浦線	奥多摩駅を発着地とし、奥09,10,12系統と共に、町内の国道411号沿道地域や主要な観光スポット、登山口へ連絡する。	交通事業者や関係者と連携した取組みにより、住民の啓発や観光でのPRにより、現状以上の観光需要を確保
	乗合バス	奥15 奥多摩湖線		
	乗合バス	奥14 峰谷線	奥多摩駅を発着地とし、国道411号沿道から離れた各地域へ連絡するとともに、観光スポット、登山口へ連絡する。	
	乗合バス	奥20,21 日原線		

注) 複数市町村にまたがる系統を「幹線(地域内幹線)」、1市町村内の系統を「支線」とした。

位置づけ	系統		役割
その他	乗合バス	奥30、31大丹波線 (路線の殆どが本計画区域外のため本計画対象外とする)	奥多摩駅を発着地とし、古里地区へ連絡するとともに、観光スポット、登山口へ連絡する。
	外出支援サービス(通院送迎)		通院が困難な町内在住の高齢者を対象に、町内医療機関への通院送迎を行う。

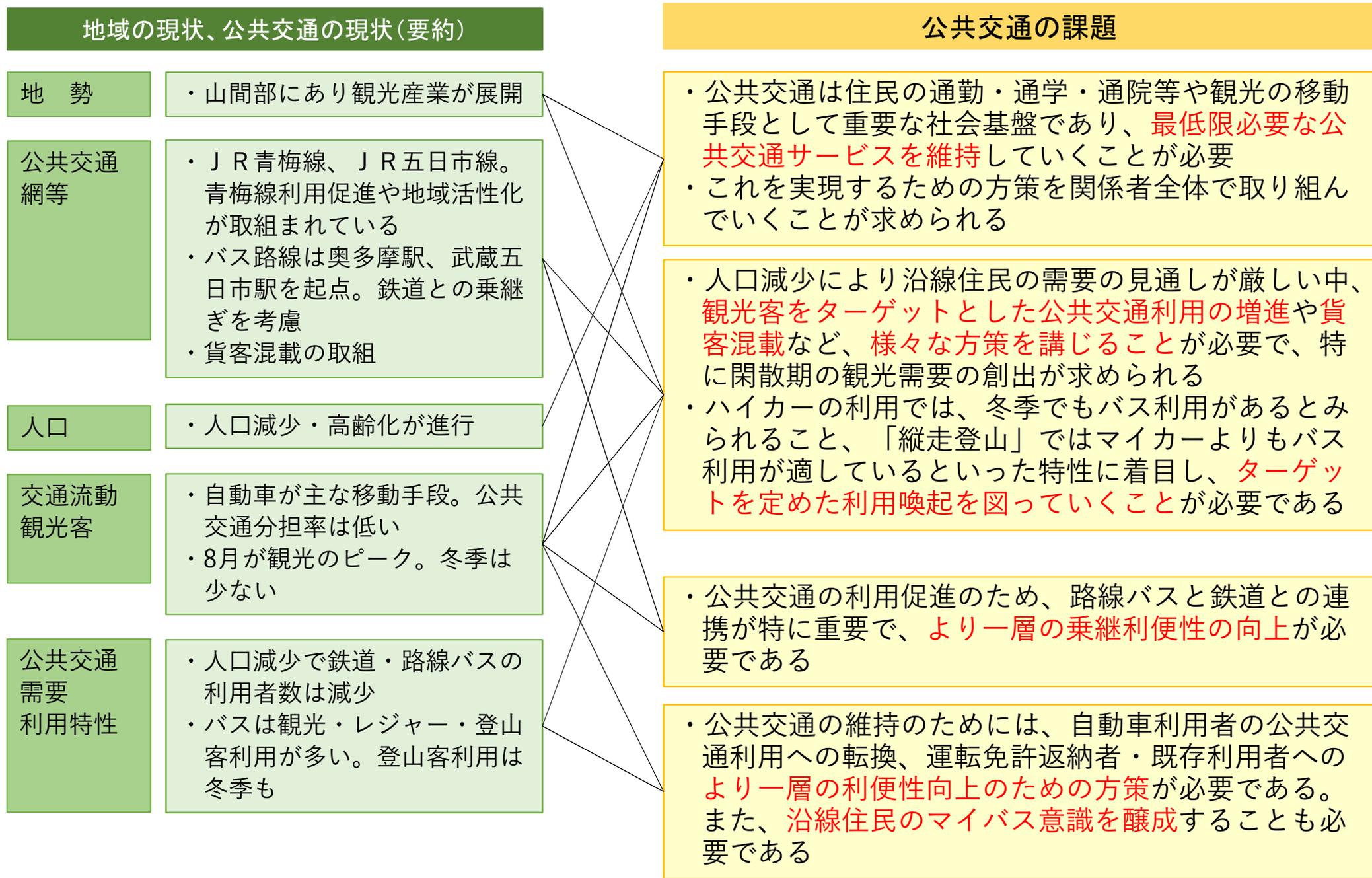
4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-2. エリア内における地域公共交通の位置づけと役割分担

系統	対象地域における補助事業の必要性
奥09 鴨沢線 (オレンジ系統)	<p>国道411号沿道の各地域や主要な観光スポット、登山口を經由し、山梨県鴨沢西まで連絡する。通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動だけでなく、観光目的の主要な移動も担う。</p> <p>起終点の奥多摩駅では、JR青梅線等他モードと連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>
奥10 丹波線 (薄オレンジ系統)	<p>国道411号沿道の各地域や主要な観光スポット、登山口を經由し、山梨県丹波山村まで連絡する。通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動だけでなく、観光目的の主要な移動も担う。</p> <p>起終点の奥多摩駅では、JR青梅線等他モードと連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>
奥12 小菅線 (黄緑系統)	<p>国道411号沿道の各地域や主要な観光スポット、登山口を經由し、山梨県小菅村まで連絡する。通勤通学、買い物、通院等の日常生活行動だけでなく、観光目的の主要な移動も担う。</p> <p>起終点の奥多摩駅では、JR青梅線等他モードと連絡し、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>

4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-3. 西多摩地域の地域旅客運送サービスの課題



4. 地域旅客運送サービスの現状と課題

4-4. 奥多摩地域の地域旅客運送サービスの課題

地域の現状、公共交通の現状、上位・関連計画（要約）

公共交通網等	鉄道 バス その他 貨客混載	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 青梅線が乗り入れ ・ 奥多摩駅を起点に、「奥09・奥10・奥12系統」が地域間幹線として、住民や観光の移動手段として重要な社会基盤に。また、鉄道との乗継ぎを考慮したダイヤ ・ 高齢者等の福祉輸送が実施 ・ 貨客混載の取組み
人口	人口 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住対策により人口減少の度合いは鈍化したものの、人口減少・高齢化は進行
交通流動 観光客	交通流動 移動手段 観光需要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車が必要な移動手段。公共交通分担率は低い ・ 8月が観光のピーク。冬季は少ない
公共交通需要 利用特性	公共交通需要 観光需要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少で鉄道・路線バスの利用者数は減少 ・ バスは観光・レジャー・登山客利用が多い ・ 登山口最寄りバス停の利用が多く冬季も利用
上位計画 関連計画	総合計画 公共交通 観光、福祉、 環境、防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用しやすい公共交通、移動支援、バス路線維持・確保、ラストワンマイルの充実、利用増の取組み、住民の協力、タクシー運行継続、新たな交通システム検討 ・ ユニバーサルデザイン配慮、公共交通利用転換・環境対応車両導入による地球環境改善、災害時の地域公共交通確保

公共交通の課題

- ・ バスが主要な移動手段である町西部(奥多摩駅以西)において、**路線バスが重要な移動手段であり、その維持が必要**である
- ・ 人口定着のため、日常生活を支える路線バスの維持が必要である
- ・ 人口減少が今後とも見込まれる中、**観光需要の取込などの取組を通じた路線の維持が必要**である
- ・ **新たな交通システムの検討など、バスを補完する交通手段の検討が求められている**

5. 基本方針

公共交通の課題

・公共交通は住民の通勤・通学・通院等や観光の移動手段として重要な社会基盤であり、**最低限必要な公共交通サービスを維持**していくことが必要

・より一層の**利便性向上**のための方策が必要
・沿線住民の**マイバス意識**を醸成
・**ターゲットを定めた観光利用喚起**

・バスが主要な移動手段である町西部(奥多摩駅以西)において、**路線バスが重要な移動手段**であり、**その維持が必要**

・人口減少が今後とも見込まれる中、豊富な観光資源を活かした**観光需要の取込**や様々な利用促進などの取組を通じた**路線の維持が必要**

・新たな交通システムの検討など、**バスを補完する交通手段の検討**が求められている

基本方針

路線バスを軸とした地域公共交通サービスの維持・確保



※「路線バス」：地域間幹線系統を含むバス路線全てを指す

6. 計画の目標・施策

6-1.目標

①路線バス運行の維持・確保

住民の生活維持及び観光の移動手段として、最低限必要な路線バス運行の維持・確保を実現するための方策を、関係者全体で取り組んでいく

②きめ細やかな移動ニーズに対応した移動手段の確保

公共交通機関の不足を補う、様々な交通手段の確保のための方策に取り組んでいく

③観光振興と連携した公共交通の推進

関係機関と連携し、観光需要の創出・取込のための方策を、関係者全体で取り組んでいく



6-2.施策案

①路線バスの利便性向上に資する取組/新たな取組の推進

- ・路線バス利便性向上施策
- ・住民に対する利用促進施策
- ・新たな取組施策

②きめ細やかな移動手段の確保の取組

- ・外出支援サービス

③観光振興と連携した公共交通事業の取組

- ・観光客の公共交通利用環境の改善施策
- ・観光客に向けたモビリティ・マネジメント施策

6. 計画の目標・施策

【数値指標と目標値】

目標	数値指標	データ取得方法	現況値（令和4年度） ※路線バス年間利用者数・乗降者数は10月～9月の数字で整理	現況値内訳	目標値 （令和8年度(2026年度)）
①路線バス運行の維持・確保	町内路線バスの年間利用者数	バス事業者保有の乗降データ	141,565人/年 (路線バス)	【小河内線】 鴨沢線 留浦線 丹波線 奥多摩湖線 小菅線 峰谷線 【日原線】	143,000人/年 (路線バス)
	公共交通に係る町の財政負担額	普通会計決算	44,208千円/年	奥多摩町 44,208千円/年	39,000千円/年
	町内路線バスの収支率	事業者報告書、決算報告書等の資料	50.3%	【小河内線】 鴨沢線 留浦線 丹波線 奥多摩湖線 小菅線 峰谷線 【日原線】	51.3%
	スクールバスの代替利用として最低限必要な便数（あるいは通院） （往復＝1便）	町及びバス事業者の通学定期等データ	小河内線 8.0便/日 日原線 4.0便/日	学校は奥多摩駅周辺に集中しているため、奥多摩駅を発着とした通学利用の便を対象とした	小河内線 8.0便/日 日原線 4.0便/日
	路線バス情報のオープンデータ化率		0%	－	100%
②きめ細やかな移動ニーズに対応した移動手段の確保	外出支援サービスの年間利用者数	奥多摩町福祉協議会保有の利用データ	1,566人/年	－	1,600人/年
③観光振興と連携した公共交通の推進	町内路線バスの年間利用者数 （再掲）	バス事業者保有の乗降データ	141,565人/年 (路線バス)	【小河内線】 鴨沢線 留浦線 丹波線 奥多摩湖線 小菅線 峰谷線 【日原線】	143,000人/年 (路線バス)
	観光地最寄バス停の乗降者数	バス事業者保有の乗降データ	87,738人/年	奥多摩湖、小河内神社、峰谷、鴨沢、東日原・鍾乳洞	88,600人/年
	観光客利用に最低限必要便数 （往復＝1便）	バス事業者保有の乗降データ	【土日祝】 奥多摩湖 9.0便/日 小河内神社 6.0便/日 峰谷 2.0便/日 鴨沢 6.0便/日 東日原・鍾乳洞 4.0便/日	－	【土日祝】 奥多摩湖 9.0便/日 小河内神社 6.0便/日 峰谷 2.0便/日 鴨沢 6.0便/日 東日原・鍾乳洞 4.0便/日

6. 計画の目標・施策

【施策の具体案】

施策分類	施策内容		実施主体
①路線バスの利便性向上に資する取組/新たな取組の推進	路線バスの利便性向上施策	①ニーズに合わせたダイヤ設定 ・学校就学時間に合わせたダイヤ設定 ・覚えやすいダイヤ設定（偶数時30分発等） など	西東京バス
		②JR線との円滑な乗り継ぎ連携 ・運行ダイヤ調整 ・遅延時の出発待機 など	JR、西東京バス
		③交通事業者間の情報連携の推進 ・協議会等における情報共有・意見交換の実施 など	奥多摩町、JR、西東京バス、タクシー事業者
		④利用者への交通情報伝達性を向上させるため路線バス情報のオープンデータ化を推進 ・Google mapへ正確な交通情報の掲載 など	西東京バス
住民に対する利用促進施策		⑤マイバス意識の醸成のためのモビリティ・マネジメント実施 ・広報誌等による効果的な呼びかけ （住民年間1回利用による収支改善効果の提示、公共交通利用の多面的効果の発信（環境改善に寄与、マイカー年間維持費削減等）） ・免許返納者に対する公共交通利用PR及び「地域支えあいボランティア事業」に関する情報発信	奥多摩町 奥多摩町、西東京バス
	新たな取組施策	⑥貨客混載事業の検討	西東京バス
		⑦環境対応車両の導入 ・ハイブリッド車・EV車等の導入と環境改善への寄与のアピール	西東京バス
②きめ細やかな移動手段の確保の取組	外出支援サービス	①対象者への情報発信 ・広報誌等を通じたサービス内容の周知など	奥多摩町

6. 計画の目標・施策

【施策の具体案】

施策分類	施策内容	実施主体	
③観光振興と連携した公共交通事業の取組	①ニーズに合わせたダイヤ設定 ・観光需要に合わせたダイヤ設定	西東京バス	
	②行楽シーズン等における臨時便・続行便の運行	西東京バス	
	③交通事業者間の情報連携の推進 ・協議会等における情報共有・意見交換の実施 ・地域公共交通の利用につながる観光客のパークアンドライドの推進・情報共有 など	奥多摩町、JR、西東京バス、タクシー事業者	
	④多言語対応 ・駅構内案内やバス停における多言語表記 など	JR、西東京バス	
	観光客に向けたモビリティ・マネジメント施策	⑤観光客に向けた公共交通利用のPR ・沿線PR施策 （観光資源情報を冊子にして無料配布、配布用駅発時刻表にバス停付近の登山マップを記載 など） ・HP・SNS（インスタ・ヤマップ等アプリ等）での発信（行政・会社） ・イベント実施主体と連携した公共交通利用のPR （観光情報発信媒体との連携等） ・エリア外都民へのPR （ラッピングバスのエリア外走行、青梅線以外のJR車内PR）	奥多摩町、JR、西東京バス
		⑥公共交通利用の多面的効果の発信 ・環境改善への寄与、観光渋滞の軽減 など	奥多摩町、西東京バス

6. 計画の目標・施策

6-3.補助系統に係る事業及び実施主体の概要

系統	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行態様	事業主体	補助事業の活用
J R 青梅線	立川	青梅	奥多摩	－	－	J R 東日本	なし
奥09 鴨沢線	奥多摩駅	深山橋	鴨沢西	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	幹線補助
奥10 丹波線	奥多摩駅	深山橋	丹波山村役場	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	幹線補助
奥12 小菅線	奥多摩駅	深山橋	小菅の湯	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	幹線補助
奥11 留浦線	奥多摩駅	深山橋	留浦	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	なし
奥15 奥多摩湖線	奥多摩駅		奥多摩湖	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	なし
奥14 峰谷線	奥多摩駅	峰谷橋	峰谷	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	なし
奥20,21 日原線	奥多摩駅		鍾乳洞	4条乗合	路線定期運行	西東京バス	なし

7. 計画達成状況の評価

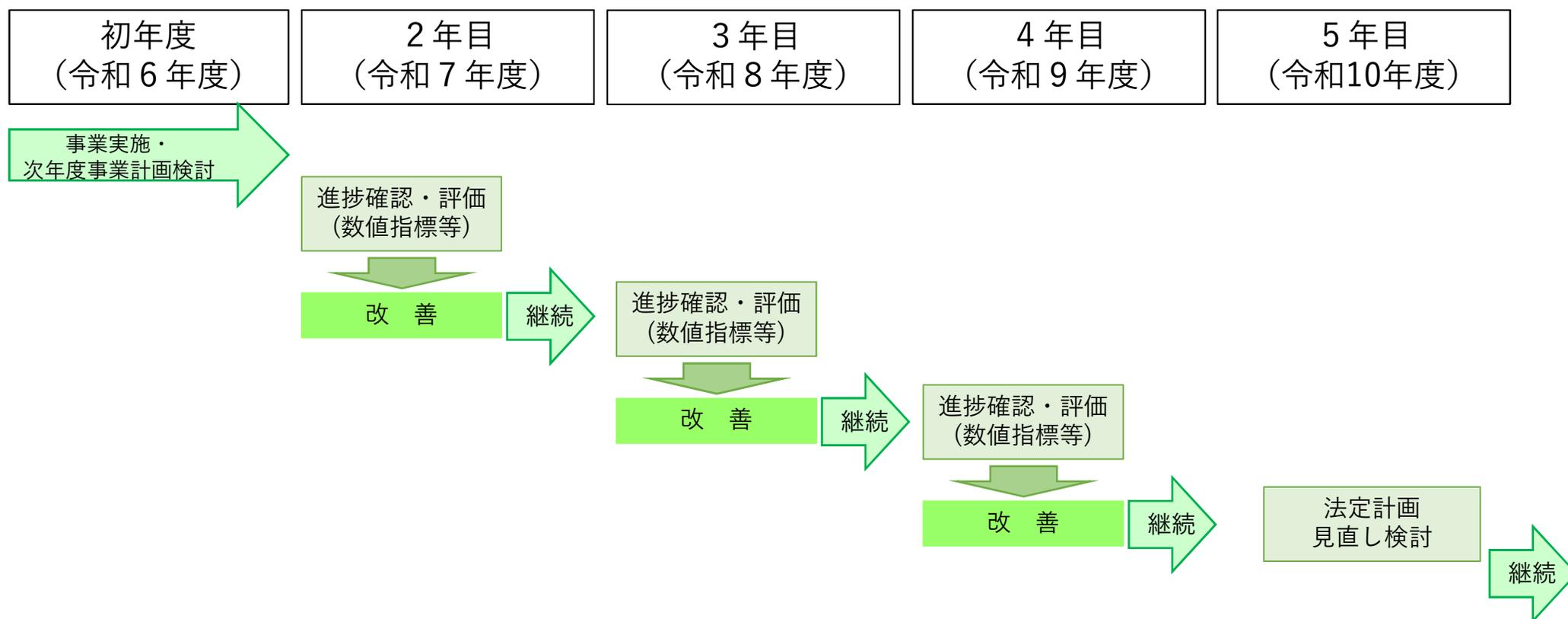
7-1. 計画の推進体制

- ・ 計画の推進及び進捗状況の管理は、奥多摩地域公共交通活性化協議会が行う。
- ・ 本協議会では、P D C A サイクルに基づいて年度ごとに進捗状況を把握・評価し、計画が適正に実施されるよう関係機関との調整を行う。

7-2. 評価・検証

- ・ 各施策について、本協議会において年度ごとに進捗確認と評価を行い、適宜改善しながら継続していく。

計画達成状況の評価の流れ



「2. 奥多摩地域の地勢・地理、社会経済状況」に関する参考資料

- ・ 地形条件
- ・ 年齢3区分別人口構成比の推移
- ・ 将来人口推計
- ・ 交通手段分担率（通勤目的、私事目的）

「3. 東京都、奥多摩町の上位・関連計画」に関する参考資料

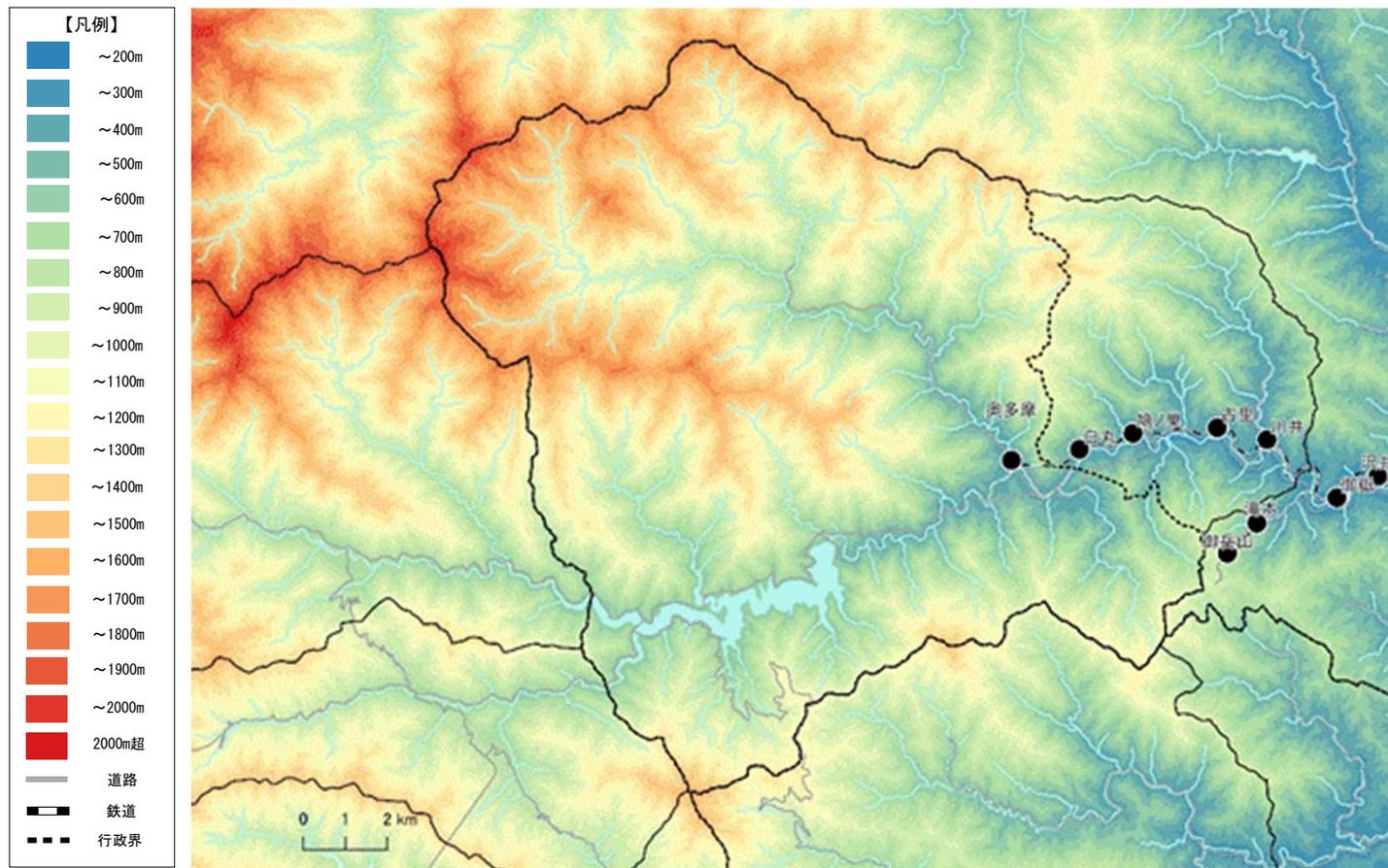
- ・ 該当計画の記載内容（概要）

「4. 奥多摩地域の地域旅客運送サービスの現状」に関する参考資料

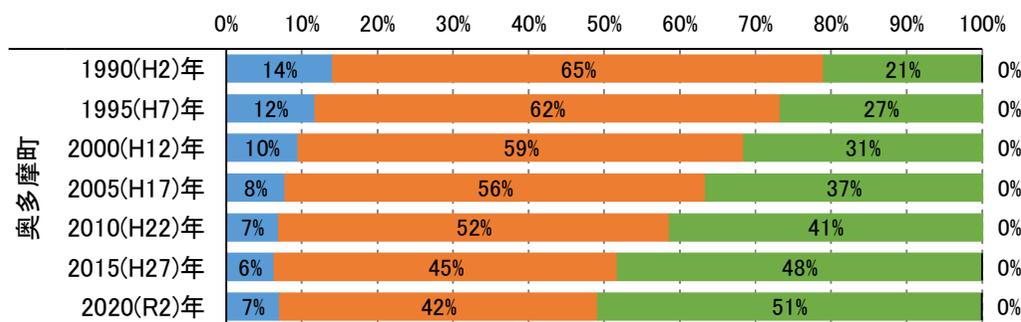
- ・ 鉄道とバスとの乗り継ぎ時時間
- ・ バス路線の月別利用者数
- ・ バス停別乗降者数

【参考】 2. 奥多摩地域の地勢・地理、社会経済状況

【対象地域の地形】



【年齢3区分別人口の推移】



■ 15歳未満 ■ 15~64歳 ■ 65歳以上 □ 年齢不詳

資料) 国勢調査

【交通手段分担率（私事目的）】



■ 鉄軌道 ■ 路線バス ■ 自動車 ■ 二輪車 ■ 自転車 ■ 徒歩 ■ 不明

資料) 平成30年東京都市圏パーソントリップ調査

【参考】 東京都、奥多摩町の上位・関連計画（該当計画の抜粋）

計画分野	策定主体	計画名	記載内容(要約)	
総合計画	東京都	「未来の東京」戦略 version up 2022	<ul style="list-style-type: none"> 区市町村等の取組促進策の充実(地域公共交通計画策定の促進、地域ニーズに応じた移動手段の導入促進) 都と区市町村の連携による取組(広域連携、デマンド交通、地域の輸送資源活用、企業との連携) 	
		新しい多摩の振興プラン	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の基本方針を策定し、市区町村等を財政的・技術的に支援 デマンド交通等導入の支援、自動運転技術・MaaS等の支援策の創設等の検討 	
		東京都過疎地域持続的発展計画	<ul style="list-style-type: none"> 定期バスの時間短縮、走行性・安全性向上のための検討、改良 地域の実情に最適な交通手段を確保・維持するため、国の補助制度に沿った生活交通路線の支援 	
	奥多摩町	第5期奥多摩町長期総合計画	【今後の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> 住民が利用しやすい公共交通の確保 交通結節点として奥多摩駅前前の総合的な整備・推進 タクシー運行の継続 高齢者外出支援等と新たな交通システムの検討
			【施策と取組み内容】	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい公共交通の確保(公共交通利用推進、ダイヤ改正や路線変更等の改善、青梅線の直通電車確保の要請) 新たな交通システムのしくみづくり(タクシーの運行継続、高齢者等の外出等生活支援事業の拡充、新たな交通システムの検討)
		第2期奥多摩町まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> JR青梅線は住民の生活や観光客の足、移住希望者の受け入れのため非常に重要 現在の運行路線の維持と利用者の増加を推進 	
		奥多摩町過疎地域持続的発展計画	<ul style="list-style-type: none"> 青梅線の利用しやすいダイヤと所要時間短縮、運行状況の情報提供、代替バス等の対応をJRに要望 利用しやすいバス路線やダイヤの検討 地域に密着した公共交通網の整備を検討 タクシーの運行継続のための支援 	
第5次奥多摩町行政改革大綱	<ul style="list-style-type: none"> 効率的にバス路線を維持するため、定期的にバス事業者と勉強会を開催 バス利用者の増加策を講じ補助金を削減 交通弱者へのボランティア制度の推進 			
都市計画・まちづくり	東京都	都市づくりのランドデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 多様な交通モードと最先端技術を組み合わせ、誰もが移動しやすい交通環境を充実 	
公共交通	東京都	東京における地域公共交通の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 広域的なネットワークは都と区市町村が連携し、関係者と議論しながら地域にとって望ましい姿を共有し取組を進める。 幹線系統の確保・維持に向け、都が主体となって関係者と共に課題解決を図り、国や区市町村等と連携して支援する。 確保・維持に課題を抱える幹線系統は、区市町村と調整の上、地域公共計画策定について検討を進める。 都として、政策的に確保・維持すべき幹線系統の検討を行う。 	
		【地域公共交通の確保・維持・改善・充実の取組を進める視点】	<ul style="list-style-type: none"> 地域間ネットワークに必要な幹線系統の確保・維持 将来にわたり必要な幹線系統・生活交通の選定と維持 ラストワンマイルの移動手段の充実 等 	
	奥多摩町	東京における地域公共交通の基本方針、及び未来の公共交通子どもアンケート 令和元年度 奥多摩町まちづくり住民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 大人になったときの公共交通の姿(小学生)として、新技術やユニバーサルデザインの導入への関心が高い。 公共交通を利用するようになる取組(中学生・高校生)として、料金や公共交通の利便性に対する指摘が多く挙げられた。 主要施策「利用しやすい交通手段の充実」への不満が他施策と比べて著しく高い。 	
観光振興	東京都	PRIME 観光都市・東京	<ul style="list-style-type: none"> 交通インフラなどの基盤整備の充実(シェアサイクルなどの実証実験と導入の取組、PRツールの作成の支援) 	
福祉	奥多摩町	奥多摩町地域保健福祉計画 奥多摩町障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画	<ul style="list-style-type: none"> だれもが安心して快適に利用できる基盤整備、町内の移動手段確保など、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進 地域や社会に参加するために大切なこととして「交通機関や道路の整備」 	
環境	奥多摩町	奥多摩町環境基本計画	<ul style="list-style-type: none"> 町の施策：路線バスの利便性確保のためのバス会社への助成、バスの利便性向上のためのダイヤ改善、JRのダイヤ改定や列車増発の要望 町民、事業者の行動指針：鉄道やバスなどの公共交通機関の利用 	
防災	奥多摩町	奥多摩町地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> 震災対策(帰宅困難者対策)としてバスを活用した代替輸送を行う。 雪害対策として、除雪協力体制の確立、利用者等への情報提供のための情報連絡体制等の充実強化。バス路線や青梅線アクセス道路等の除雪の優先。 	
		奥多摩町国土強靱化地域計画	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生後でも、生活・経済活動に必要な最低限の交通ネットワーク等の確保、早期復旧 	

【参考】 4. 奥多摩地域の地域旅客運送サービスの現状

【鉄道とバスとの乗り継ぎ時時間】

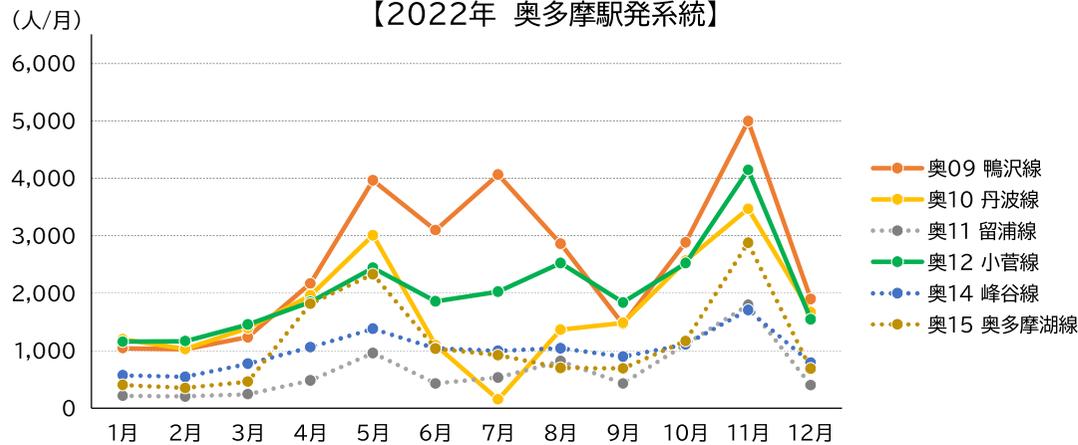
単位：分

	奥多摩駅			
	青梅線→バス		バス→青梅線	
	平日	休日	平日	休日
平均	8.4	8.4	13.8	10.1
最長	20	19	31	26
最短	2	4	4	2

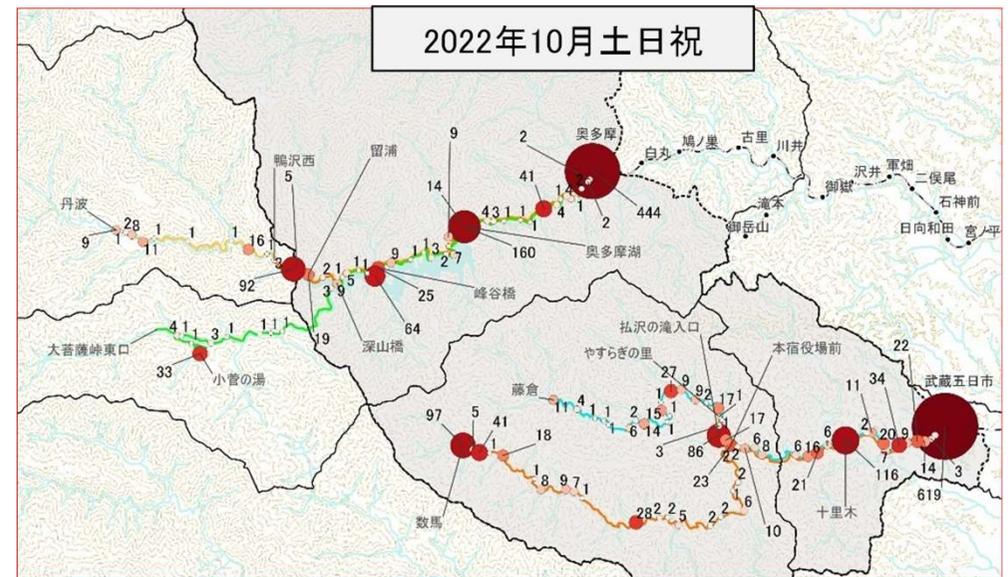
資料) 各社時刻表を基に作成

【バス路線の月別利用者数】

【2022年 奥多摩駅発系統】



【バス停別乗降者数】



資料) 西東京バス資料